

こんにちは



# 議会です!

きたもと議会だより

北本の行事シリーズ



## 初山(浅間神社)

浅間神社で、6月30日と7月1日の両日、赤ちゃんの健やかな成長を祈願する『初山例大祭』が行われました。



## 主な内容

6月定例会・・・  
一般質問・・・～  
委員長報告・・・  
提出案件の結果等・・・

## 会期日程

6月3日(木)本会議(開会)  
6月4日(金)議案調査日  
6月7日(月)議案調査日  
6月8日(火)本会議(委員会付託)  
6月9日(水)委員会(建設経済)  
6月10日(木)委員会(総務文教・保健福祉)  
6月14日(月)本会議(一般質問)  
6月15日(火)本会議(一般質問)  
6月16日(水)本会議(一般質問)  
6月17日(木)本会議(一般質問)  
6月18日(金)委員会(建設経済)  
6月21日(月)本会議(閉会)

No 73

平成22年(2010)8月1日発行  
編集 議会だより編集委員会  
発行 北本市議会  
北本市本町1-111  
TEL 048-591-1111  
FAX 048-591-6335  
[www.city.kitamoto.saitama.jp/](http://www.city.kitamoto.saitama.jp/)

# 6月定例会

平成22年度

北本市一般会計補正予算を可決  
1億3958万4千円を追加

6月3日から6月21日までの19日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案22件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件、請願2件を慎重に審議しました。  
追加議案として、市内小中学校の耐震補強及び大規模改修に係る工事請負契約の締結についての議案が4件あり、挙手全員により原案のとおり可決しました。  
なお、その他の議案の審議結果は、8ページをご覧ください。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第53号 工事請負契約の締結について

Q、今回、北本市が行った総合評価方式の入札について  
A、今回は試行的に簡易型で行いました。これについては、まず企業の技術能力として、工事の成績、施工の実績の2項目。企業の社会的貢献度として、災害防止活動等の実績、CO2の削減対策等のエコ関係の2項目。それから、配置予定技術者の技術能力として、現場監督の工事の成績評価、施

工経験の2項目の合計6項目に絞って行いました。  
今回、提案した4つの工事のうち、特に大規模で、より品質や安全能力等が求められる西中学校の耐震補強及び大規模改修工事を試行的に行いました。

Q、県内自治体の導入状況について

A、総合評価方式については、埼玉県でも既に2、3割の事業に取り入れているとのこと。また、桶川市や鴻巣市についても昨年、1つの工事について採用したとのことです。

北本市でも昨年、土木工事で試行的に行いましたが、今

後の採用については、状況を見据えながら検討したいと考えています。

【総合評価方式入札とは】  
「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、価格と価格以外の要素を総合的に評価し、最も評価の高い者を落札者とする方式です。

## 【紹介】

今定例会において同意されました人権擁護委員を紹介いたします。

住所 北本市下石戸上  
1958番地23  
氏名 大塚 美津子氏



【副議長の就任】

中山敬弘議員の逝去に伴い、欠員となっていました副議長に吉住武雄議員が就任しました。なお、委員会構成に一部変更がありましたのでお知らせします。

議会運営委員会					
福島忠夫	三宮幸雄	湯澤清訓	桂 祐司	岸 昭二	金子真理子
保健福祉常任委員会					
金子真理子	島野和夫	中村洋子	桂 祐司	福島忠夫	吉住武雄
庁舎建設特別委員会					
島野和夫	黒澤健一	湯澤清訓	桂 祐司	阪井栄見子	横山 功
伊藤堅治	吉住武雄	三宮幸雄	高橋節子	大澤芳秋	

は委員長、 は副委員長、以下議席順。 は新たに就任した議員です。

## みんなで徹底しよう「三ない運動」

政治家への寄附は禁止。有権者が寄附を求めることも禁止。

- 政治家は有権者に寄附を **贈らない!**
- 有権者は政治家に寄附を **求めない!**
- 政治家から有権者への寄附を **受け取らない!**



# 市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、18人の議員から68件114項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

## 脳ドック検診

問1 近隣市の助成の状況について

答1 鴻巣市では、国民健康保険の被保険者を対象に平成14年5月1日から、脳ドックを受けた者に対して検査料の一部を補助する制

度を開始しています。1回2万8000円が上限で、平成20年度実績では101人が利用し、補助金総額は282万8000円とのことです。

問2 本市での実施について

答2 財源の課題に加え医師会との調整も必要なこと

から、実施に至っていません。今後、保険者として被保険者の健康をどのように守っていくのか、特定検診を踏まえた人間ドック補助制度のあり方、脳ドック補助制度の意義等、総合的な観点から地区医師会や関係自治体との協議を行い、財源等の観点もあわせて検討していきたくと考えています。

## 平和月間

問1 今年度の平和を考える集いの進捗状況は

答1 北本市は昭和61年の市議会で世界連邦平和都市宣言、北本市非核平和都市宣言を決議しました。

このため平成19年より、

8月6日の広島と9日の長崎の被爆、そして15日の終戦、これらの日を迎える7、8月の暑い夏休みの季節を、親子、家族そして市民が集い平和を意識し、願い、考える月間として位置づけて、平和啓発事業に取り組んでいます。

今年度の事業としては、平和未来展と題して中学生の平和ポスター、標語や原爆の図、市民の皆様から募

集する平和と命をテーマとした俳句、短歌、メッセージ等を展示します。資料展示部門の新たな取り組みとして、平和ポスター、標語についても小学生以上の市民の皆様から募集します。また、平和への思いを記入していただくコーナーや平和アニメの上映等を行います。

今年度は、7月28日から8月1日に開催。

## 6月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

吉住武雄（緑風政策）  
・子育て支援  
・事業仕分け  
・駅西口広場

他1件

横山 功（平成会）  
・久保特定土地地区画整理事業の現状  
・下原考戸のまちづくり  
・市道16号線のバリアフリー化

他2件

伊藤堅治（平成会）  
・北本駅西口広場改修事業  
・菜の花まつりの事業  
・市内業者の育成及び支援

他2件

大澤芳秋（緑風政策）  
・市民税減税の可能性  
・駅西口駅前広場改修工事の見直しを求める1万人の署名の意味するもの  
・デーノタメ遺跡

現王園孝昭（緑風政策）  
・まちづくりの基本原則  
・国が行う直轄公共事業の負担金  
・庁舎拡張用地における児童館建設

他3件



## 水辺プラザ事業

問1 当初の計画どおりにすすんでいるのか

答1 国土交通省の計画では平成21年度から継続事業であった護岸工事は6月中旬にほぼ完了しました。平面部の粗造成も行なわれ、

下流の荒井橋からその姿が一望できます。芝生広場等の整備は平成22年度の国の予算措置がなされなかったため、整備行程で平成22年度に予定されていた工事は一時休止となります。荒川上流河川事務所では、事業は継続し平成23年度末を目標に暫定的にでも供用できるように予算措置も含め準備を進めていきたいとのこと

問2 市が行う駐車場整備や道路整備について

答2 野外活動センターと



護岸工事が完了した水辺プラザ予定地

を結ぶ市道の拡幅を前提に、測量設計業務を実施して、利用者の駐車場を整備する予算を今年度計上しています。国が実施する事業がおおむね終了し、大型重機の出入りがなくなった時期に合わせて、順次行なうことを考えており、現段階では今年度の整備実施は非常に厳しいと受け止めています。

必要と考えます。白紙撤回は、事業を提案し推進しているものとしては、一切考えていません。

## 駅西口広場

問1 計画について

答1 北本駅西口駅前広場の改修事業は、平成19年度に作成した都市再生整備計画の基幹事業です。平成21年度からの5か年間の事業で、前年度に実施した事業

は北本駅東口のエレベーターの設置、西口駅前広場の電線地中化工事、駅前広場改修の詳細設計等です。平成22年度分は2億300万円のまちづくり交付金が内定し、今後屋根部分の工事を予算に計上し、事業を実施する状況です。

問2 改善点について

答2 議会の3会派から駐車場、タクシー乗り場および交差点改良の要望を頂き

ました。この3点については、説明会等で市民からも要望されています。

問3 3月議会で予算が可決されたが白紙撤回できるのか

答3 交通が混雑する中で、

駅ビル前の降車場付近で、バスと一般車両のトラブルが発生したり、横断歩道にて歩行者と車両とが交錯する状況を見ると交通の安全と円滑化の面からも改修が

問4 市長の決断と考え方をお尋ねしたい

答4 西口駅前広場改修は事業として進めると、議会がゴーサインを出したものを、今になって止めること議員が言うことは、ルールや民主主義の手続きを無視したものと考えます。私のほうから止めますと申し上げる立場にはありません。

- 三宮幸雄（緑風政策）
- 西口駅前広場の改修計画
- 新庁舎建設（児童館含）
- 縄文のタイムカプセル「デーノタメ遺跡」

福島忠夫（平成会）

- 菜の花まつり
- 小学校給食費の半額負担または無料化の実施を検討してはどうか
- 住基カードの拡大利用

他1件

中村洋子（共産党）

- 自治基本条例の制定がまちづくりにとって反映されるのか
- 農業従事者を増やすための支援をもとめて
- 平和月間を前にした、今年の平和を考えるつどいの準備状況

他1件

金子眞理子（緑風政策）

- 北本市行政と社会福祉法人北本市社会福祉協議会との関わり
- 地域学習センターの使用料
- 駅西口広場改修

他1件

串田英夫（みんなの会）

- 市内県道
- 「埼玉にコウノトリ、トキ」という夢を現実に未来の子どもたちへプレゼント
- 国、県等補助金の確保はどのように進めるのか

# 圏 央 道

問1 圏央道上部の蓋かけについて

答1 圏央道の工事は高崎線の東側を先行して実施されると考えられ、沿道の土地利用状況がマンションであることから、市では蓋か

けの予算を計上しました。市の負担については、概算で1億6000万円として3か年事業のうち初年度は5000万円を当初予算で計上しました。

問2 蓋かけ上部の利用方法は

答2 管理上の課題も念頭に、限られたスペースをどのようにするか、本年度予定している新駅周辺交通計画策定調査業務において具

体的に検討したいと考えています。

問3 圏央道桶川・北本インターチェンジ開通に伴う交通量と車両の流れについて

答3 国土交通省大宮国道事務所と東日本高速道路株式会社によると、平成22年4月の1か月間の調査で1日平均6500台の利用があり、休日には1日平均7800台の利用があるとのこと。

# 市 内 業 者 の 育 成

問1 最低制限価格の活用について

答1 市では、入札契約制度の透明性、公正性、競争性を確保すると共に地元業者の育成支援のため、指名競争入札、一般競争入札、

総合評価方式による入札、そして随意契約といった様々な制度を導入しています。

これにより、公共工事への入札参加の機会が拡大し、競争性が高まるなど、適正な競争環境が整備できます。これらの制度とともに、最低制限価格制度については、最低制限価格を定めることにより、この価格を下げた場合は失格となるこ

とから、極端な低価格による受注を排除でき、適正価格による工物品質や安全性の確保が可能となり建設業の健全な発展も期待できます。

問2 入札状況について

答2 入札参加資格は、工事内容や規模、業者の技術力や実績等を勘案して定めています。このような入札参加資格を踏まえ、一般競争入札の参加条件について

開通による周辺道路への車両の流れのうち、県道さいたま鴻巣線から北本市内への流れとしては、1日平均7600台で、開通前と比較して600台、約9%の増加となっています。



今年の3月28日に開通した桶川北本インターチェンジ

- 高橋節子（緑風政策）
- 市民との協働をどう推進していくのか
- 福祉の充実
- 駅西口問題
- 他1件
- 工藤日出夫（緑風政策）
- 荒川の水辺ブラザ事業
- 「北本らしい駅の顔プロ」への1,000万円の委託事業
- アートと地域の交流拠点づくり事業について
- 岸 昭二（公明党）
- 圏央道の掘削構造部工事及び蓋かけ
- 圏央道桶川・北本インターチェンジ開通に伴って
- 中丸1丁目地内の調整池での安全対策
- 桂 祐司（みんなの会）
- 北本市の国際化戦略。国際交流・協力と国際（友好）都市
- 市内小中学校におけるエコキヤップ運動の取組み
- 児童館のコンセプトと子ども図書館
- 坂井栄見子（公明党）
- 今年「国民読書年」にあたり、子どもの読書環境のさらなる充実
- 「子宮頸がん」予防ワクチン接種事業の展開
- 「リングが教えてくれたこと」の著者木村秋則氏への視察からの質問

## アートと地域の 交流拠点づくり

問1 この事業に約5000万円を計上しているが、どのような内容なのか

答1 この事業は、本市が平成20年度より取り組んでいる芸術によるまちづくり事業を推進するため、身近

に文化、芸術に触れられる環境づくりのための交流拠点づくりと、芸術と地域がよりよい形で交流していくためのワークショップやイベントなどを開催し、地域とアートをつなぐための市民団体の育成を目的としています。今までの北本には

なかった試みを実践していくことを目標に活動を行っているキタミン・ラボ舎の活動に新たな北本市民や市

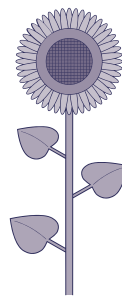
外からの学生等、幅広いメンバーが参加し、組織の充実が図られたところです。

問2 継続的雇用が見込まれるのか

答2 この事業は地域の雇用対策補助事業で広域的に募集することが求められています。業者より、彩の国仕事発見システムの求人広告を活用したとの報告を受けており、現在委託業者が雇用している者は、すべ

て市外の者ですが、本市への居住を希望する者もいると聞いています。

委託している会社では、この雇用対策事業の趣旨を理解していると思います。現在活動している雇用者のこの事業に取り組む姿勢と情熱は非常に評価するものがあると考えています。



## エコキャップ 運動

問1 エコキャップ運動とは

答1 ペットボトルのキャップを集め、それをゴミとして焼却処分するのではなく、リサイクル業者に売却し再資源化を促進すること

で得た売却金を、開発途上国の子どものワクチン接種費用として寄付する運動です。ワクチン接種で多くの子ども達の命を守り社会貢献ができることで、全国的に広がっています。

環境保護活動としての役割もあり、エコキャップが

800個で20円の収益となり、ポリオワクチン1回分の接種につながります。

問2 本市の取組みは

答2 市内の小中学校では、既に児童会や生徒会、各種委員会など、子どもたちが主体となった活動として取り組んでいる学校も多く、さらに今後検討していくと

の学校がほとんどです。

このような取組みは、子ども達にとって国際理解教育や環境教育などの生きた教材であり、社会貢献体験になると考えています。また、市内で昨年度よりこの



小学校に設置された回収箱

運動を推進するNPO法人が設立され、庁舎内にも回収箱が設置されています。

## 傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。

身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

次回の定例会は、

8月30日(月)

開会の予定です。

- 島野和夫(公明党)
- スクールガードリーダー
- 脳ドック検診の助成
- 北本駅西口広場改修
- 黒澤健一(平成会)
- 駅西口広場改修工事の整備方針
- 本市次世代育成支援行動計画の推進
- ・コミ協30周年を経て、時代の変化を捉えた今後の「ミニニティ活動の方針
- 湯澤清訓(共産党)
- ・生活保護の申請状況と対応
- ・改めてミニニティバスの位置づけを問う
- ・JR北本駅西口駅前改修計画

他2件



## 総務文教

Q．育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について

A．今回の条例改正は、地方公務員の育児休業等に関する法律などの改正に伴い条例の一部改正を行うものです。この条例改正により、育児休業等の取得要件が緩和され、育児休業等の利用が進むものと考えます。このため、職員研修の開催やパンフレット等を配布して啓発に努めるとともに、育児休業に伴う代替職員として任期付職員等を配置するなど、職員が仕事と育児を両立できる環境づくりに努めます。



## 保健福祉

Q．中丸保育園園舎の建替えへの県補助金の内容について

A．県の補助要綱では、1施設当たり1億4,740万円という基準額が示されており、その額に建物に関する設計加算、保育所の開設に当たっての準備費加算、旧園舎の解体撤去工事等の費用を含めて補助基本額、1億6,089万4,000円が積算されています。この補助基本額のうち、県が12分の8を、市が12分の1を負担し、事業者は残りの12分の3を負担します。今回の補助事業は国の安心子ども基金を活用したもので、今年度末までの事業に対しては、市の負担が12分の1で済み、市にとって有利な条件となっています。なお、事業者は補助基準の自己負担に加え基準外の附带工事などの経費、約2,400万円を負担します。



## 建設経済

Q．北本市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例のねらいについて

A．今まで原則として建物を建てられなかった市街化調整区域を、市街化区域に編入することで急速に宅地開発が進むことが想定されるため、地区計画と併せて建築条例を制定するものです。この条例により、良好な街並みを誘導していけるものと考えています。

Q．地権者の意向について

A．台原地区の一部区域については、引き続き営農を希望する方が多く、調整区域内の方々の意向を取り入れそのようにしました。また、中丸南地区の調整区域については、調整区域にしてほしいという意向が強い中で、市街化区域を希望される方もいましたが、たとえば、一筆だけ調整区域の中に市街化区域を設けることは都市計画上で好ましくないことから、ご理解をいただき調整区域としました。

## 特別委員会の報告

## 庁舎建設特別委員会

執行部から庁舎建設基本設計等に関する説明を受けました。今後さらに、内容の詳細についての検討を要するため、閉会中の継続審査となりました。

## 議会改革特別委員会

3月定例会で2案提出された「北本市議会基本条例の制定について」は、さらに検討を加える必要があることから、閉会中の継続審査となりました。

# 主な提出案件の結果一覧

議案名	議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	みんなの会
専決処分の承認を求めることについて(北本市税条例の一部改正について)	承認					
職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について	可決					
北本市職員の育児休業等に関する条例及び北本市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決					
北本市税条例の一部改正について	可決					
北本市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決					
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	可決					
彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決					
埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決					
人権擁護委員候補者の推薦について	同意					
固定資産評価員の選任について	同意					
市道の路線の認定について	可決					
市道の路線の廃止について	可決					
平成22年度北本市一般会計補正予算(第1号)	可決					
工事請負契約の締結について(議案第50号)	可決					
工事請負契約の締結について(議案第51号)	可決					
工事請負契約の締結について(議案第52号)	可決					
工事請負契約の締結について(議案第53号)	可決					
平成22年度北本市一般会計補正予算(第2号)	可決					
発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディア教材の普及促進を求める意見書	可決					
UR賃貸住宅(旧公団住宅)居住者の居住の安定に関する意見書	可決					
北本駅西口駅前広場の整備に関する決議	可決		×	×		×
北本駅西口駅前広場改修事業の修正と事業の促進を求める決議	可決	×			×	
北本西口駅前広場に関する請願	趣旨採択	×			×	
UR賃貸住宅(旧公団住宅)居住者の居住の安定に関する意見書採択を求める請願	採択					

\*上記以外に4件の議案審議がありましたが、いずれも起立及び挙手全員により原案のとおり承認しています。



各会派の議員数 緑風政策フォーラム【7人】、平成会【5人】、公明党【3人】、共産党【2人】、みんなの会【2人】  
 会派名称の変更(平成22年6月3日付)「市民福祉の会」「みんなの会」

は議案に対して賛成の会派  
 ×は議案に対して反対の会派  
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

委員	副委員長	委員	議会だより編集委員	
中村洋子	岸昭二	桂祐司	黒澤健一	金子眞理子

### 編集後記

北本市議会の議決結果で、10対9という結果はこれまで何度もありました。4月末に中山議員が急逝され議長を除く18名での採決となり、3議案が9対9の可否同数となつて北本市議会初の議長裁決が行なわれました。市民から提出された駅西口広場改修に関する請願と議員提案の議会決議2件で市執行部議案ではありませんでしたが、議会の表決結果は市政を左右させることとなります。

議員間で議決について意見を交わした際に、故中山議員が「一票にこだわり、なぜかを表明し、市民の代表として自分で判断する」とおっしゃっていました。残して逝つた言葉の重みを改めて感じていきます。

(眞)